

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

事業所名：いぶき

利用者数：12

回収数 6

令和4年3月 実施

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見(→改善点や留意点)
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	6	0	0	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	5	1	0	
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	4	0	
適切な支援の提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	6	0	0	
	5 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	4	2	0	
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	6	0	
保護者への説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	5	1	0	
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	6	0	0	
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	2	4	0	
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	0	6	0	
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	2	0	
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	6	0	0	
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	6	0	0	
14 個人情報に十分注意しているか	6	0	0		
非常時等の対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	3	3	0	
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4	2	0	
満足度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	6	0	0	
	18 事業所の支援に満足しているか	6	0	0	

※ この「保護者からの事業所評価の集計結果」については、保護者の皆様に「保護者様向け 放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			利用定員に十分見合ったスペースを設けている。1フロアを活動の内容によって自由に移動できるように区切っている。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			5名のスタッフを配置しており、基本的に利用者2名に対しスタッフ1名で活動している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	入口の段差は必要に応じて設置できる簡易スロープを準備した。2階に上がる階段には手すりをつけている。エレベーターやリフトの設置を再度検討したが、構造的に難しかった。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			現場のスタッフでチーム会議を行っている。また、法人の管理職や相談支援を交えての部会も必要に応じて行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			年度末のアンケート調査以外にも、面談や電話、送迎時に随時、保護者の意向等を把握し、業務改善に努めている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページにて公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			法人内の管理職や相談支援を交えて、第三者の立場として意見を頂いている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			法人内で研修を設定している。外部研修にも積極的に参加できる体制を整え、個別に学びを深められるよう努めている。今年度も感染予防対策としてリモートで受ける機会も多かった。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			電話や面談などでの個別懇談の機会を作り、子どもと保護者のニーズを把握し、計画の見直し・作成を行っている。コロナ禍とあって電話での対応が多くなった。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○	使用していない。今後、使用を検討する。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			月1回のチーム会議にて、活動プログラムの見直しや立案を行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			新型コロナウイルスの感染予防に留意しながら、音楽療法、創作、クッキングなどのプログラムを行い、昨年同様に買物体験やプール、外出などは見送ることとなった。子どもによっては見通しが持てるように固定化している部分もあるが、創作やクッキング、誕生日会などは子どものニーズに合わせて内容を設定したり、季節に合った内容になるように工夫に努めている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか			○	子ども1人1人の状況を把握し、発達段階を考慮した課題を設けている。今年度も感染予防の観点から、外出のプログラムを組むことが難しく、屋内で行える支援に重点を置くように努めた。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			子ども1人1人の状況や発達段階を考慮して、個と集団のバランスに配慮している。また、集団活動においても1人1人に合ったそれぞれの計画を作成するよう努めている。

	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			1日の流れや担当、配慮事項の分かる書面を作成し、支援前に打ち合わせをしている。また、職員全員に書面を配布し、個々で改めて確認できるようにしている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			その日の子どもの様子を振り返り、職員間で共有を図っている。また、その都度、支援の方向性を確認合っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			個別支援計画に対応して、支援の内容が分かるようにできるだけ詳しく正確に記録をとるよう努めている。また、運動記録など個別のケースに応じた記録もとり、検証・改善につなげている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			毎月モニタリングを行い、計画見直しの必要性を判断している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			どの活動プログラムも基本活動に沿った支援を組み合わせさせて設定している。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			子どもの主たる支援者や児童発達管理責任者が参加している。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			各学校の状況に合わせて、年間計画や行事予定、下校時間の確認を書面でいただいている。また、子どもによってデイの活動予定を担任の先生にお知らせしている。連絡調整については学校送迎時や電話連絡にて担任の先生と確認している。学校によっては、保護者向けの連絡メールの登録をさせていただいている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	現在は医療的ケアが必要な子どもが在籍していない。ただし、全員の医療機関の情報を保護者からいただいている。病院、主治医、服薬、アレルギー等の確認を行っている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	相談支援専門員や保護者を通じて、情報の把握に努めている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			法人内では卒業時に引き継ぎを行っている。家庭との連携をとり努めている。法人外に関しては、依頼があれば情報を提供している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	研修には参加しているがコロナ禍ともあって回数になってしまっている。今後も積極的に研修に参加し、連携に努めたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	今年度はコロナ禍のなかで、法人のイベントは中止となる。感染予防で外出活動を制限し、児童館や地域の公園へ行き、障害のない子どもと交流することもできなかった。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○	障害者総合支援協議会の専門部会に参加できていない。今後は積極的に参加し、意見の交流を深めたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時や連絡ノート、電話などで家庭との日々の様子や子どもの発達の状況を伝え合うよう努めている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	積極的にこちらからアプローチすることは行っていない。職員の更なる学びは継続が必要。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			新規利用時に説明を必ず行っている。また、年度の更新の際に利用契約書をお渡しし、内容に変更があればお伝えしている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			個別面談や送迎時、または電話で相談に応じ、子どもの今後の支援の仕方について一緒に考えるように心がけアドバイスをすることで共有の場面をつくっている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	法人での保護者会は開催しているが、放課後等デイサービスのみの保護者会はしていない。今後、要望に応じて開催を検討する。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情窓口を設置し、迅速かつ丁寧な対応を心がけている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			活動の様子は法人のホームページに掲載したり、月に1回通信を発行したりして紹介している。通信では行事予定や連絡事項を記載し、特別な行事を行うときには事前に詳細を知らせている。
関係機関や保護者との連携						
保護者への説明責任等						

非常時等の対応	35	個人情報に十分注意しているか	○		個人名が入った文書等はシュレッターにて破棄するよう職員全体で徹底している。写真や名前の掲載については、事前に保護者に確認をとって掲載している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		言葉だけでは理解の難しい子どもや保護者には、本人にとって分かりやすい表現を探ったり、文字や絵を使って構造化を図ったりしている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	法人での行事としては、地域住民の方々を招いてリモートや少人数でのイベントを行っている。放課後等デイサービスとしては、コロナ感染予防対策で自粛していた。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○	マニュアルは今年度、特に感染症対応マニュアルの周知を職員や保護者へ定期的におこなった。他のマニュアルについて職員への周知は行っているが、保護者への周知まではできていない。利用更新の際に周知が図れるよう再度検討する。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		地震・火災の防災訓練を子どもたちを交えて行なった。利用する子どもたちの状況に合わせ、想定しながらの訓練の継続が今後必要。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		チーム会議にて伝達研修を実施している。虐待防止の会議を法人内、チーム内と数回行えた。
41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○	現在、対象者がいないため、放課後等デイサービス計画に記載はない。今後、対象者が出た場合は、子どもや保護者に理解を求めた上で、必要性を必ず記載する。	
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		健康情報カードを作成し、年1回アレルギーに関する項目を保護者に再確認している。	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		事業所内の共有メールにその都度アップして、情報の共有をしている。	